

【調査の概要】
 平成23年2月10時点調査
 (郵送法)
 調査対象 県内1,000社
 回答企業 404社(回答率 40.4)

本会社アンケートによる県内経済動向 ～ 前年同月比は弱含みで推移 ～

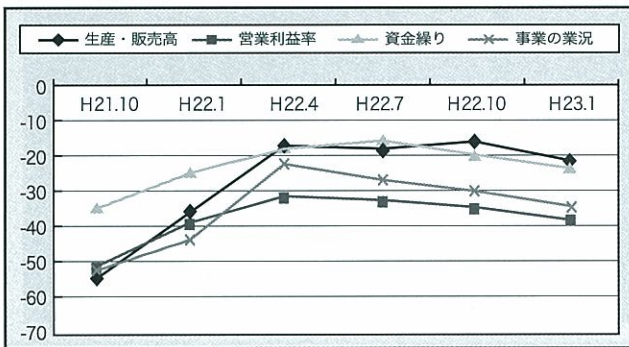
【全産業DI値】 (表1・表2)

山形県全体のDI値(※)の前年同月比推移をみると、前回調査(H22.10)同様弱含み状況にあり、H22.4調査以降下落傾向にある。

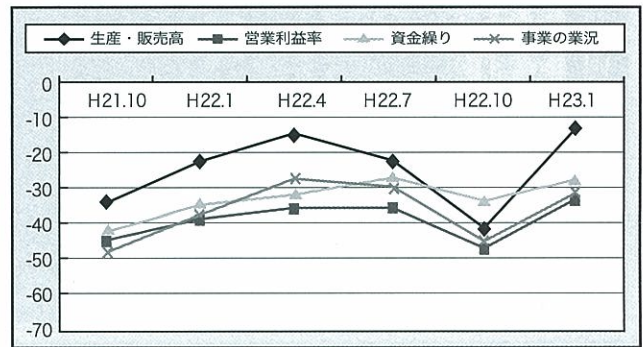
生産・販売高(H22.10調査▲16.0→今回調査▲21.4)、営業利益率(▲34.5→▲39.3)、資金繰り(▲19.7→▲22.5)、事業業況(▲30.4→▲34.3)と、生産・販売高除いた項目で足踏み傾向を示している。

一方、3ヶ月先見通しDI値(表2)をみると、各項目とも上方傾向にあり、前年同月比傾向とは異なり改善への期待値を示す結果となった。(H22.10調査生産・販売高▲40.6→今回調査▲14.5)、(営業利益率▲47.5→▲33.4)、(資金繰り▲33.8→▲27.5)、(事業の業況▲45.5→▲31.5)

【表1-県計前年同月比DI値の推移】



【表2-3ヶ月先見通しDI値の推移】



【産業別DI値】 (表3・表4)

生産・販売高の前年同月比DI値を業種別の推移でみると、H22.7月調査でプラスポイントになった製造業は前回同様マイナスポイントの結果となっており、特に建設業のマイナス幅が大きい。

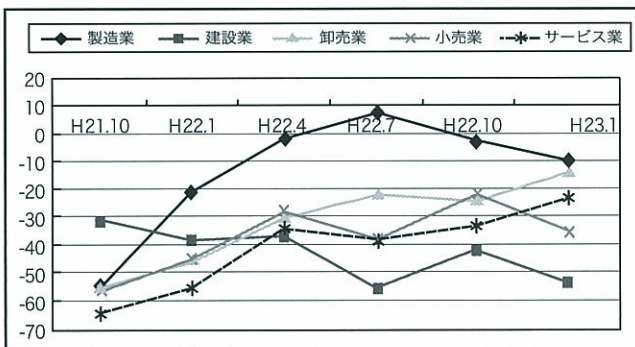
また、今回調査で上方傾向を示しているのは卸売業・サービス業のみとなった。(製造業：H22.10調査▲1.5→今回調査▲3.1、卸売業：▲25.6→▲12.8、建設業▲41.7→▲54.0)、小売業▲20.5→▲36.3、サービス業▲33.3→▲22.3)

3ヶ月先見通しDI値については、建設業を除き全般的に回復傾向への期待感が高い結果となった。

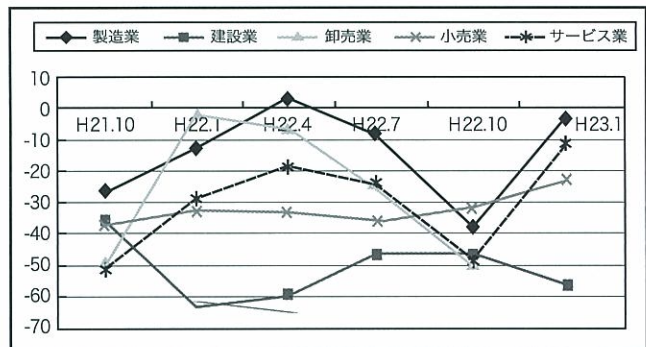
(製造業▲38.9→▲3.1)、(小売業▲30.9→▲22.7)、(卸売業▲50.0→▲5.2)、(サービス業▲48.1→▲11.1)、(建設業▲45.8→▲58.0)

今後の見通しについての期待感が高いが、中東の政情不安による原油高傾向が一段と高まっていることと、為替相場が再び円高水準にブレていることから経済状況への影響が懸念される。

【表3-業種別生産・販売高前年比DI値の推移】



【表4-業種別生産・販売高3ヶ月先見通しDI値の推移】



(※1) DI値：「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数